

みんなのた場

サークル仲間 71

ちぎり絵サークル

会話を楽しみながら制作 個性あふれる作品が魅力

開成、南境の仮設団地で暮らす人たちが作る「ちぎり絵サークル」(杉山せつ子代表)は、制作活動を通して住民同士が交流の場を持つと平成24年3月から活動を始めました。

時間をかけて一つの作品を仕上げます。

作品のテーマはイチゴやカボチャ、アヤマなど、季節に合わせて変わります。講師を務める市内在住の三浦寛衣さん(34)は「紙のちぎり方によって、色合いも表情も変わるのがちぎり絵の魅力です」と語りま

毎日カレン

ダーを眺めながら、次の活動日を楽しみにしているという柳田かつ

子さん(70)は「三浦さんの教え方が丁寧で親切。和

気あいあいとしたサークルの雰囲気もとても心地良

く、いつまでも一緒に続けていきたいです」と笑顔で語ってくれ



▲ご自慢の作品を手にする皆さん

杉山代表(58)は「同じ仮設住宅に住んでいても、住民同士が会話をする機会は少ないので、このように皆で集まるのは、とても貴重

なコミュニケーションの場になっていきます。仕上がった後に、お茶っこ飲みをしながら、皆で作品を見せ合うことが何よりの楽しみです」と話していました。

キラッとパチリ

復興に向けて確実に歩みを進めます

市の復旧、復興をサポートする長期派遣職員の方々の中から、今回は生活環境部災害廃棄物対策課で平成24年8月20日から業務に従事されている、岡田誠司さんと桑田英幸さんを紹介しま

※ ※ 岡田さんは豪雨災害等の被災地で災害ボランティアを担った経験があり、今回も自ら志望しました。現在、家屋解体業務に従事しています。「慣れ親しんだ家の解体で市民の皆さんの心情を察する

ことはとても難しいですが、業務を通じて深く接することができました」と語ります。桑田さんは入庁から1年ほどで派遣に名乗りを挙げ、若い力を発揮しています。現在は災害廃棄物一次仮置き場の運営に携わっています。仮置き場は現在5か所になり、9月30日には受け入れも終了します。

「仮置き場の縮小は復興のバロメーターであり、石巻は確実に歩みを進めています」と語り、まちのにぎわいと活気を感じています。

2人は9月30日で任期を終えます。「震災前よりもすばらしい石巻になってほしい。私たちも任期まで確実に復興支援を進めます」と語ってくれました。



災害廃棄物対策課

岡田誠司さん 41歳

広島市から派遣



災害廃棄物対策課

桑田英幸さん 25歳

広島市から派遣

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」
日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内
投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールにて秘書広報課あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

☎ 秘書広報課(内線4024) ☎ 986-8501(住所不要)
Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

にぎわか家族

71



北上地区・橋浦
(左から)琉愛ちゃん、望愛ちゃん
(右側後)愛爽ちゃん
(右側前)愛香ちゃん

〈将来の夢〉
山内愛爽ちゃん(8) ケーキ屋さんになりたい
琉愛ちゃん(5) おじいちゃんの家業を継ぎたい
望愛ちゃん(2) ウサギさんになりたい
愛香ちゃん(0) これから将来が楽しみです(両親談)

〈両親から〉 個性豊かな娘たちは、その笑顔で太陽のような明るさを家庭にもたらしてくれます。これからも4姉妹仲良く互いに協力しながら夢に向かって進んでほしいです。

まちの話題



石巻地区

思い出詰まった 講堂にお別れ

6月28日(金)
石巻小学校

石巻小学校講堂が老朽化のため建て替えられることになり、お別れ式が行われました。全校児童や同窓生ら地域の人たちが出席して、昭和11年の完成以来77年間にわたって多くの子どもたちを見守ってきた講堂に、校歌や伝承歌「だるま」等で感謝を捧げました。石巻小には、本年度中に鉄骨鉄筋コンクリート造一部2階建ての屋内運動場が建設されます。

石巻地区



6月23日(日) 石巻工業高校

科学実験にわくわく好奇心

子どもたちに実験を通して科学の不思議とおもしろさに触れてもらおうと、学校法人工学院大学主催の「出張科学教室」が開かれました。同大学の教授、学生のほか石巻工業高校の生徒たちも運営に携わり、20項目の実験の場を設けました。子どもたちは身近な素材を使ってキャンドルやスーパーボール、スライム作り等に挑戦し、楽しんでいました。